

“農村の第一線でご活躍されている皆様のための”

第65回 農村医学夏季大学講座

これからの持続可能な地域づくり ～医療と農業の視点から～

2026 **7/10金-11土**

JA長野厚生連佐久総合病院
農村保健教育ホール

※Zoom同時配信



雄大な浅間山と、佐久平の豊かな恵み

開催要領

■受講料・支払方法

①佐久総合病院教育ホールで受講希望の方

所定の申込用紙（コピーでも可）にご記入いただき、送付願います。
FAXでお申し込みされた方は、必ず電話にてご確認ください。また、メールでお申し込みされる方は、佐久総合病院のホームページ（<https://sakuhp.or.jp>）をご覧ください。

- 受講料……一般 3,000円（テキスト代・税込） ※1日のみの受講は2,000円
 - 学生 1,000円（テキスト代・税込） ※1日のみの受講は500円
 - 高校生以下 無料 ※テキストや参加数把握の関係上、事前のお申し込みが必要です。
- ※学生料金適用の確認のため、当日は学生証をご持参ください。

- 交流会……10日（金）3,000円 ※参加は事前のお申し込みが必要です。
- お弁当代……昼食（11日のみ希望者）1,200円（税込）
- 定員……300名
- 支払方法……当日精算のみとさせていただきます。 来場いただいた際に受付で精算をお願いいたします。

②Zoomを使用して受講希望の方

右記の二次元バーコード、または佐久総合病院のホームページ（<https://sakuhp.or.jp>）にアクセスいただき、お申込みフォームから登録・決済をお願いいたします。

お申込みには、**teket（テクト）**への会員登録（無料）が必要です。

- 受講料……一般 3,000円（テキスト代・税込） ※1日のみの受講は2,000円
- 学生 1,000円（テキスト代・税込） ※1日のみの受講は500円

※別途事務手数料が発生いたします。
高校生以下 無料 ※テキストや参加数把握の関係上、事前のお申し込みが必要です。
※1人単位でのお申し込みと受講をお願いいたします。
※Zoom IDを第三者へ譲渡・販売・公開する行為は禁止いたします。
※学生料金適用の確認のため、在籍先へ連絡する場合があります。

- 支払方法……お申込みフォームの支払い方法に従い、お支払いをお願いいたします。
決済完了後、Zoom IDとパスワードが、ご登録いただいたメールアドレスに配信されます。
お支払い方法は、クレジットカード決済・コンビニ決済・銀行振込が選択できます。
※受講料の払い戻しは原則いたしませんので、ご了承ください。

- 申込締切日……7月2日（木）



開催場所 ご案内



- 北陸新幹線「佐久平駅」から車で20分
- JR小海線「白田駅」から徒歩で10分
- 上信越自動車道・佐久ICから車で25分
- 中部横断自動車道・佐久白田ICから車で5分

お申込み方法・お問い合わせ・連絡先

- ◆所定の申込書または佐久総合病院のホームページからお申し込みください（コピーでも可）。
- ◆受講票、領収書は事前に発行いたしません。受講当日、会場受付にてお渡しいたします。
- ◆お申し込み・お問い合わせ先：
佐久総合病院 第65回農村医学夏季大学講座事務局

事務局

第65回農村医学夏季大学講座事務局
長野県佐久市白田197 佐久総合病院内
(直通) TEL 0267-82-2677
FAX 0267-82-7034
<https://sakuhp.or.jp>

- 主催：JA長野厚生連/JA長野県組合長会/JA長野中央会/JA長野信連/JA全農長野/JA共済連長野/JA長野健保
- 後援：JA全厚連/日本農村医学会/日本成人病予防会/日本農村医学研究会/長野県/信濃毎日新聞社/SBC信越放送/NBS長野放送/TSBテレビ信州/abn長野朝日放送/NHK長野放送局/佐久医師会/佐久市/小海町/佐久穂町/川上村/南牧村/南相木村/北相木村



長野県厚生農業協同組合連合会
代表理事 理事長

洞 和彦

今年「農村医学夏季大学講座」は第65回目を迎えました。これまでの長い歴史の中では、時代に即したテーマをその都度取り上げ、私たちの地域が抱えるさまざまな課題について真正面から向き合ってきました。今年のテーマは「これからの持続可能な地域づくり～医療と農業の視点から～」としました。

現在、私たちを取り巻く社会情勢は大きく変化しています。急速な少子高齢化と人口減少に加え、物価高や人材不足など、地域社会が抱える課題は年々複雑化しています。こうした状況の中で私たちの地域がこれからも安心して暮らし続けられる場所であるためには、分野の枠を超えた取り組みがますます重要になっています。とりわけ、人々の命と生活を支える医療と、食や地域産業の基盤となる農業は、地域の持続性を考えるうえで欠かすことのできない存在です。医療は健康を守り、誰もが住み慣れた地域で暮らし続けるための支えとなり、農業は食の安心と地域の活力、そして人と人とのつながりを育んできました。今回の場が、地域の未来についてともに考える貴重な機会となり、新たな連携や取り組みにつながる一助となれば幸いです。

信州の盛夏にふさわしい熱い議論ができますことを期待するとともに、開催にあたり、第一線でご活躍の講師の皆さま並びにご支援を賜りました各関係団体等の皆さまに厚く御礼を申し上げます。



佐久総合病院
統括院長

渡辺 仁

皆さん、こんにちは。今年も夏季大学を開催できることを大変嬉しく思います。原稿を書いている今は春から初夏、佐久の地は一年で最も美しい季節を迎えています。世界に目を向けると、いまも各地で戦争が続き、多くの罪なき人々が犠牲になっています。「健康は平和の礎」という若月俊一の言葉を胸に、一日も早く平穏な日常が戻ることを祈っております。

さて、今年のテーマは、『これからの持続可能な地域づくり～医療と農業の視点から～』です。人口減少が進み、特に地方では働き手の不足が深刻になってきています。未来を悲観的に捉えてしまいがちな現状ではありますが、人々の営みを支える医療と農業の視点から、持続可能な地域づくりを考える機会にしたいと思います。助け合い支え合う地道な取り組みの中にこそ、未来への希望があると信じています。

また、今年も素晴らしい先生方が若月賞を受賞されました。それぞれが理想と信念をもって取り組まれてきた活動は、まさに若月賞にふさわしいものです。ぜひ、その歩みと想いに触れていただければと思います。加えて、特別講演の先生方のお話をお聞きできる機会を、今から大変楽しみにしております。

それでは、佐久の地で、皆さんと共に学び、語り合えることを心よりお待ちしております。

第65回 農村医学夏季大学講座プログラム

1日目 7月10日(金) 12:00～

時刻	テーマ	講師・座長
12:00～	受付	
13:00～	開講式	
13:15～14:00	若月賞授賞式	
14:00～15:20	<p>[若月賞受賞講演] がんと向き合う</p> <p>受賞記念講演として四つの話題を取り上げたい。 1) 自己紹介 なぜ医師を目指したか、医療事故、基礎研究など。 2) がんとはどういう病気か？ がんは遺伝子の異常によって発生する細胞の病気であることをお伝えする。 3) 歩くことの社会的意味、四国巡礼、全がん協加盟32施設の一筆描き訪問、みちのく潮風トレイルの経験から歩く意味を考える。 4) がんと向き合う。がんは誰でも罹る可能性のある普通の病気の一つ、とイメージを変えたい。 この四点を豊富なスライドを使って語りたい。</p>	<p>日本学士院会員 公益財団法人日本対がん協会 会長 国立がんセンター 名誉総長 かきぞえ ただお 垣添 忠生 氏</p> <p>座長 宮田 佳典</p>
15:20～15:40	休憩	
15:40～17:00	<p>[講演] 医食同源の再定義 —— 「身体」と「地域」をつなぐもの</p> <p>医食同源という言葉は誠に使い勝手が良い。だが、語源はいまだ明確ではない。それが中国古典からの引用ではなく、戦後日本で用いられるようになった言葉であることだけは間違いがない。この報告では、拙著『生類の思想——体液をめぐる』を軸としながら、医および薬と食および農がどのようにつながっているのかを現代の視点から整理し、その歴史的な危険性をふまえたうえで、地域が真の意味で活性化するための道筋を考えてみたい。</p>	<p>京都大学人文科学研究所 教授 ふじはら たつし 藤原 辰史 氏</p> <p>座長 伊澤 敏</p>
17:00～17:20	休憩	
17:20～	<p>[寸劇] 福島とともに 3.11より15年</p>	にっこり一座
18:00～	交流会	事前にお申込みが必要です。

テーマ

これからの持続可能な地域づくり～医療と農業の視点から～

2日目 7月11日(土) 8:30～

時刻	テーマ	講師・座長
8:30～	受付	
9:00～10:20	<p>[講演] 地域衰退と持続可能な地域</p> <p>多くの地方自治体で、基盤産業が失われ、病院やスーパーマーケットなどが消えるといった衰退現象がみられる。こうした地域衰退を食い止め、持続可能な地域を作り、人々が豊かな暮らしを送るにはどうしたらよいか。本講演では、日本だけでなく、海外の事例も参照しながら、持続可能な地域の未来について考え方を提示したい。さらに、その中で医療がどう位置づけられるのかについても示したい。</p>	<p>埼玉大学 学術院 教授 みやざき まさと 宮崎 雅人 氏</p> <p>座長 由井 和也</p>
10:20～10:40	休憩	
10:40～12:00	<p>[若月賞受賞講演] 土からの平和 ～アジア学院の平和の理念と和解を目指す取り組み～</p> <p>アジア学院は栃木県那須塩原市にある創立54年目の学校で、開発途上国の農村リーダーを毎年25～30名ほど受け入れ、9ヶ月間の共同生活と指導者研修を行っている。第二次世界大戦後、日本の加害の歴史を踏まえ、アジア諸国の農村再建に寄与する人材育成を目的に設立された。学生の多くは紛争や差別の背景を持ち、「共に生きる」姿勢とFOODLIFEの実践を通して和解と協働を学ぶ。「土からの平和」は土といのちを尊び、自然と共に生きることで平和を築く学院の理念であり、誰もが日々の食を通して参加できる取り組みである。</p>	<p>学校法人アジア学院 常務理事 関係構築&アウトリーチ統括 あらかわ ともこ 荒川 朋子 氏</p> <p>座長 蓮見 純平</p>
12:00～13:20	昼食	
13:20～15:20	<p>[シンポジウム] これからの持続可能な地域づくり ～医療と農業の視点から～</p>	<p>埼玉大学 学術院 教授 みやざき まさと 宮崎 雅人 氏</p> <p>鶴岡市立農業経営者育成学校「SEADS」 校長 ももせ きよあき 百瀬 清昭 氏</p> <p>学校法人アジア学院 常務理事 関係構築&アウトリーチ統括 あらかわ ともこ 荒川 朋子 氏</p> <p>佐久総合病院 小海分院 院長 ゆい かずや 由井 和也</p>
15:20～15:30	閉講式	